

# 白山コミュニティセンター 建設計画は

## 28年度に用地買収し建設予定

**問** 白山コミュニティセンターは県道の用地となり、27年度内に解体と聞いている。代替施設の建設計画は。

**佐藤町長** 地区で代替施設の候補地を選定してもらっており、28年度に用地を買収し、施設を建設する予定である。

**問** 28年度の補正予算で対応ということだと思いが、施設が県道用地に当たり解体しなければならぬことはおととしから知っていたはずだ。なぜ当初予算に計上できなかったか。

新施設の予定地が農地の場合には農地転用の手続き



解体前の白山コミュニティセンター

### さらなる子育て支援策の拡充を

#### 制度改正の動向を注視し検討

**問** 町が27年度から乳幼児医療費給付事業の対象範囲を18歳までに拡大したことは子育て支援に大きく寄与している。少子

化による人口減少に歯止めをかけるには保育園保育料の軽減等、さらなる支援策の拡充が必要だと思われるがどうか。

**町長** 27年度に特定不妊治療費助成事業や小児インフルエンザ予防接種費用助成事業を創設し、支援策充実に努めている。保育園保育料については、国の基準から約4割軽減を行っている。今後も国の制度改正などの動向を注視しながら検討していく。

#### シイタケ生産

#### 資材等への補助制度創設を

#### 検討課題と認識している

**問** 本町の乾シイタケ生産者は放射性物質の汚染による出荷制限等で激減した。かつての生産量に近づけるためには新たな生産者の育成・確保が不可欠である。

もので、現生産者の生産・販売量を再生復活させることを目的としている。

の確保・育成対策は今後における検討課題である。

きにも時間を要する。敷地は決まっているか。  
**菊池生涯学習課長** 予定地は原野である。土地取得の予算について精査できなかつた。

**問** 行政区長をはじめ地区の方々と連絡を密にし、遅延なく建設を進めてもらいたい。

**生涯学習課長** そのように努めたい。

シイタケ栽培は初期投資に多額の資金を要する。種駒への助成だけでなく、被覆資材、散水施設、乾燥機等に対しても助成制度創設の検討を。

**町長** 28年度から予定している助成は、生産に直結する植菌費用に対しての

**古館農林課長** 現時点での生産者のニーズは原木対策である。当面は現在栽培している生産者の生産量を再生させることが課題と考えている。一定の生産量の確保は共通認識であり、新たな生産量

- ◆ 私道整備事業の補助率引き上げの考えは
- ◆ 放課後児童クラブ未設置地区への施設建設は
- ◆ 体験型観光プログラム△組織の構成員と期待する活動は
- ◆ 堂ヶ鼻および島田地区の排水路整備工事完成時期は

#### その他の質問

議員 佐藤克典  
(政和会)